

小樽市立長橋小学校だより

令和7年8月22日発行 No. 6



# ながはし

【目指す学校】

一人一人の子どもを主語にする学校

<学校教育目標> かしこく なかよく たくましく



長橋小HP

## 「自分で選ぶ力」を育む

校長 及川年彦

今年の夏は、猛暑に加え、自然災害への備えの大切さを改めて考えさせられる出来事がありました。7月30日（水）、本市でも津波注意報が発令されました。幸いにも大きな被害はありませんでしたが、夏休み中ということもあり、子どもたちが家庭や地域で過ごしている中での発令に、私たち教職員も強い緊張感を覚えました。改めて「防災意識」や「地域との連携」の重要性を感じました。学校では、11月28日（金）にCSによる防災教室を行い、地域と連携した避難訓練や防災学習をより実践的なものにしていく予定です。

さて、夏休み前の学校だよりでお願いしていましたが、夏休み中子どもたちはどんな場面で、何を自分で選んで決めたいでしょうか。「何をして過ごすか」「誰と遊ぶか」「どんなことに挑戦するか」・・・その一つ一つが、子どもたちの「選ぶ力」を育ててくれたことでしょう。

そして今、2学期が始まり、子どもたちは日々の授業の中で「選ぶ」ことに向き合います。例えば、分からない問題に出会ったとき・・・「手を挙げてみるか」「もう少し考えてみるか」、友だちの意見を聞いたとき・・・「共感するか」「自分の考えを伝えるか」、調べ学習や作品づくりでは・・・「どんな方法で、どんな表現を選ぶか」など。

こうした小さな選択の積み重ねが、子どもたちの「自分で考え、決める力」を育てていきます。本校では、「子どもを主語にする学校づくり」を合言葉に、子どもたちが自分の考えを持ち、選び、行動できる場面を大切にしています。もちろん、選ぶことには責任も伴います。だからこそ、私たち教職員は、子どもたちが失敗を恐れずに安心して選び、時には迷い、時には立ち止まることができるよう、温かく見守り、支えていきたいと思っています。

子どもが自分で選び、自分で歩む力を育てること。それは、未来を生きる力そのものです。保護者の皆様とともに、子どもたちの「選ぶ力」を育てる学校づくりを、これからも進めてまいります。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

### 保護者アンケートへのご協力、ありがとうございました。

1学期にお願いしておりました保護者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。現在、児童アンケート結果とあわせて分析しているところです。分析結果については、改めてお知らせいたします。

また、自由記述にいただいたご意見・ご要望については、後ほど学校より回答いたします（記名いただいた方のみ）。

### 【夏休みの様子①】潮ねりこみ、元気に踊りました。

7月26日（土）に行われた第59回小樽潮まつりの潮ねりこみ。本校PTAからは児童・保護者・教職員で総勢78名の梯団を組み、参加しました。23日に予定していた事前練習が暑さのため中止となり、全体で揃える機会がない中でのねりこみでしたが、列の先頭に立った6年生がしっかり声を出して引っ張ってくれました。心配された天候も雨が本降りになることはなく、全員でゴールすることができ、夏のよい思い出となりました。



### 【夏休みの様子②】学習サポート、みんなで学びました。

7月25日（金）と28日（月）の2回、夏休み学習サポートがありました。2日間で、延べ104名の皆さんが参加して、一学期の勉強でわからなかったところを確かめたり、夏休みの課題に取り組んだりしました。また、今回PTAサポートとして2日間で3名の保護者の方々に学習をサポートしていただきました。それに加え「たるっ子サポーター」として2名の方にお力添えいただきました。中でも28日に来てくれた双葉高校1年の「〇〇〇〇」さんは、本校の卒業生ということで、先生方との再会を懐かしむ一幕もありました。お忙しい中を子どもたちのためにご協力いただき、誠にありがとうございました。



### 【夏休みの様子③】ラジオ体操、がんばっていました。

夏休みの期間中、各町内会では朝のラジオ体操が行われていました。長い休みが続くと生活リズムが乱れがちになりますが、朝の清々しい空気の中で体操をすることで生活リズムや体調を整え、一日を爽やかにスタートすることができます。また、同じ地域のお友達や大人の方と触れあうことができる大切な場でもあります。期間中、それぞれの町会にお邪魔させていただきましたが、突然の訪問にも関わらず温かくお出迎えくださり、誠にありがとうございました。子どもたちが地域の中で見守られて、成長していることを実感させていただきました。



共睦町会



長和町会



オタモイ3丁目町会



葵が丘町会

### 【子どもたち・保護者の皆様へのメッセージ「一人で抱え込まないでください」】

学校は、子どもたちが安心して過ごし、のびのびと学べる場でなければなりません。でも時には、友達のこと、勉強のこと、家庭でのことなど、心がざわざわすることもあるかもしれません。そんな時は、どうか一人で抱え込まず、学校の先生方や、信頼できる大人に相談してみてください。話すことで、心が少し軽くなったり、解決の糸口が見えてきたりすることもあります（持ち帰っている端末から「おなやみポスト」も利用できます）。

保護者の皆様も、気になることや不安なことがありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。また、スクールカウンセラーもいますし、学校HPには相談窓口を掲載していますので、そちらもご利用ください。